



東大阪市立 高井田東小学校
おおつか ともひろ
教諭 大塚 友裕 さん

子どもたちの笑顔のために

この1年間、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。コロナ禍による多くの制約の中に在っても、職場の同僚と知恵を出し合い、協同して行事や取り組みを行い、子どもたちの笑顔を生み出すという貴重な経験を得ることができました。思うようにいかず悩むこともありますが、子どもたちの「わかった!」「できた!」と喜ぶ姿が見たいという思いを原動力に、「子どもたちにとって何が一番大切か」を全力で考えて取り組むと、子どもたちも全力で応えてくれ、とてもやりがいのある仕事だと感じています。子どもたちから教えられることや学ぶことは数限りなく、子どもたちと過ごす毎日が、私を「成長」へと導いてくれます。教員になって本当によかったです。



貝塚市立 第二中学校
きしもと けんや
教諭 岸本 健也 さん

つながるって楽しい

教員になってから、生徒にとって得意なことや苦手なことなどは様々で、個性の違いを感じています。生徒たちが、授業をおとして互いに協力しながら課題を解決したり、行事などで協力したりする中で、お互いのことを分かり合っていくと、生徒と生徒がつながり、クラスの雰囲気や、クラスがどんどん温かくなっていきます。そんなとき、生徒の成長を感じ、とても嬉しく思います。もちろん、悩むこともあります。共に悩んでくれる同僚や、指導をしてくださる先輩の教職員など、多くの方々に助けていただいています。このような経験をおとして、自分自身の成長を実感することもできています。皆さんも、ぜひ、大阪府と一緒に働いてみませんか。



先輩へのインタビュー
QRコード

REAL VOICE



吹田市立 岸部第二小学校
ちば あかね
栄養教諭 千葉 茜 さん

子どもたちの食の支えになりたい

ずっと夢だった栄養教諭として働き始めて、あっという間に1年が過ぎました。子どもたちに安心・安全でおいしい給食を届けるとともに、教職員と連携し、学校全体として食事の大切さを伝えていくためには、栄養教諭が必要だと実感しています。給食時間に子どもたちがおいしそうに食べていたり、苦手な食べ物でも食べようと頑張ったりしている姿を見ると、こちらも笑顔になります。これからも、子どもたちが何事にも挑戦できる健康な体を作るため、食事の面から全力でサポートしていきたいと思います。子どもたちの今と未来に食が与える影響は大きいと考えています。栄養教諭として、子どもたちの食を共に支えていきましょう。

先輩からのメッセージ



枚方市立 菅原東小学校
このの あい
養護教諭 河野 愛 さん

大好きな“養護教諭”という仕事

子どもたちは、しんどいとき、ケガをしたとき、イライラしたとき、困ったときなど、様々な理由で保健室に来ます。私は養護教諭として、子どもたちが保健室で休養し、少しでもホッとできる教室にもどってほしいなという思いで、保健室を運営しています。学校では毎日いろいろなことが起こりますが、泣いたり笑ったりいろんな表情を見せてくれる子どもたちに、元気を分けてもらうこともたくさんあります。養護教諭の仕事は、学校の子どもたち全員と関わり、学年を超えて成長を見届けられる素敵な仕事です。そして、子どもたちと関わる中で自分自身も大きく成長することができます。子どもたち一人ひとりの出会いが私にとって大切な宝物です。



大阪府立 西浦支援学校
こばやし ちさ
教諭 小林 千紗 さん

人とつながる支援学校

4月当初は、目の前の子どもたちのために、教員として私に何ができるのか不安がありました。そんな不安をよそに一生懸命授業に取り組む子どもたちの姿をみて、教員として子どもの成長を支えていきたいとより強く思うようになりました。支援学校では個に応じた指導を大切にしていますが、学校の集団での学びを活かして「友だちと一緒にだから楽しい!」と思える、子どもたちをつなぐ支援も大切にしています。

今でも授業づくりや児童対応については毎日悩むことばかりです。そのような時はチームティーチングの中で、いつでも先輩教員の姿から学び、そして相談できる環境が支援学校にはあります。ぜひ一緒に支援学校で働きましょう!

生徒の成長が、自分自身の成長に!



大阪府立 岸和田高等学校
まへだ まこと
教諭 疋田 眞子 さん

教員になってからの5年間、とても充実した日々を過ごしてきました。そのうちの3年間は学級担任を務め、生徒たちの成長のために自分に何ができるのかを常に考え、生徒たちを長期的に見守りつつ、共感し、対話を行ってきました。また、保護者や他の教職員を含めた“学校という1つのチーム”として連携を取りながら生徒と接してきました。授業・行事・部活動等をおとして、生徒たちが自信をつけ、表情が明るくなる瞬間を見ると嬉しくなります。そのようななかかわりをおとして、自分自身も成長することができています。上手くはこなすことがばかりではありませんが、「まだまだ学べることがある!」と前向きに捉えています。とてもやりがいのある仕事です。

校務の要として貢献できるように



高槻市立 桜台小学校
うろしま たかつとし
首席 宇留島 拓人 さん

私は教員採用選考に合格して以降、学級担任として多くの児童と出会い、充実した時間を過ごしてきました。そのことにやりがいを感じ、一方で、日々の諸問題に迅速、的確に対応する管理職の姿を見て、これまで以上に学校経営にも参画していきたいという気持ちが生まれ、首席に挑戦することを決意しました。現在は5、6年生の理科の授業を担当しながら、会議の運営や行事の調整、児童対応や経験年数の少ない教員への指導、助言などを行っています。教員の困りに寄り添い、解決に向かうことができた時や、首席として意見申し出たことで学校組織がより円滑に機能した時には、担任をしていた時には別のやりがいを感じる事ができています。

教員も生徒と「ともに学び、ともに育つ」



大阪府立 岬高等学校
はしもと こうき
教頭 橋本 公貴 さん

教諭、首席、教頭を経験する中で障がいのある生徒、外国にルーツのある生徒、LGBTQ、家庭環境にさまざまな背景のある生徒など、多くの子どもたちと向き合ってきました。また、その青春に関わってきました。いまの子どもの子どもは私たちの子ども時代よりもグローバル化、情報化が加速し、激しく変化する予測困難な社会を生きていかなければなりません。私たち教員がその子どもたちに何ができるのか、一緒に考えていきたいと思います。教員生活に不安を感じる方もいるかもしれませんが、子どもの背景や状況をしっかり見て、寄り添い、共感し、ともに楽しむことができれば大丈夫です。子どもが好きで、熱意のある方、一緒に大阪の教育をつくっていきましょう。

「子どもたちのために」取り組んで



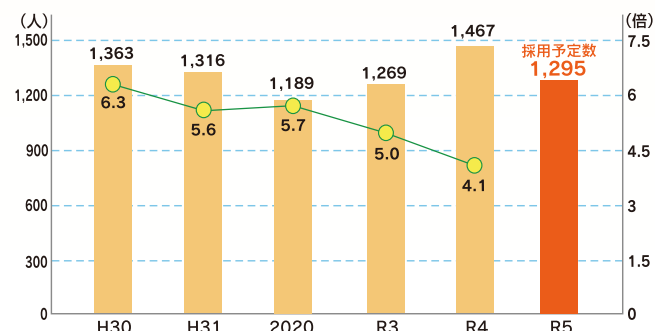
太子町立 山田小学校
にし のなみ
校長 西野 直美 さん

中学校教諭として、教科指導と学級経営そして部活動に全力で取り組みました。11年目に首席となり学校全体を見る立場になり視野が広がりました。その後、教育委員会で6年間勤め、学校運営について様々な角度から考える経験をしました。現在、山田小学校長として、2年目をむかえています。初めての小学校、コロナ禍の状況の中、教職員と共に「子どもたちのために」どうすればより良いものになるかを考え、日々奮闘しています。毎日の生活や行事をおとして、子どもたちのわずかな成長にも喜びを感じます。教職員はもちろん、地域の方々や関係機関の協力もいただきながら、学校全体が活性化していく過程にやりがいを感じています。

令和4年度 校種等別志願者数・受験者数・合格者数

校種等	志願者数(人)	受験者数(人)	最終合格者数(人)	倍率(倍)
小学校	1,760	1,574	470	3.3
小中いきいき連携	95	91	49	1.9
中学校	1,792	1,611	371	4.3
高等学校	1,969	1,689	337	5.0
支援学校(幼稚部・小学部共通・小学部)	274	241	88	2.7
支援学校(中学部)	174	159	44	3.6
支援学校(高等部)	181	167	75	2.2
支援学校(自立活動)	0	0	0	-
支援学校(理療)	10	9	1	9.0
養護教諭	430	372	23	16.2
栄養教諭	115	95	9	10.6
合計	6,800	6,008	1,467	4.1

合格者数(全校種合計)と最終倍率の推移



大阪府立 住吉高等学校
ねづ かんたろう
教諭 根津 貫太郎 さん

自分も学ぶという姿勢を大切に

教員生活が始まって最初のころは、自分が教員としてやっていけるのかとても不安でしたが、先輩教職員の方々のサポートや元気あふれる生徒たちのおかげで、慌ただしくも楽しい毎日を送っています。できないことやわからないことが多く、時には落ち込むこともありますが、「1年目の自分が最初からうまくいくわけがない。とにかく何でも経験して次はうまくやればいい。」という思いで、少しでも多くのことを吸収しようという気持ちをもって日々を過ごしています。生徒に対する強い思いをもって接すれば生徒たちは応えてくれます。教員は、子どもの成長に関わることができ、自分も成長できる魅力ある仕事です。一緒に学び、成長していきましょう。